

## 受験生の皆さんへ

3月3日、札幌の朝は、大雪でした。

この日、全道一斉に公立高校の一般入試が始まりました。今年は、全日制・定時制合わせて237校に35,756人の生徒達がチャレンジします。

私の高校入試は、思い出すのも難しいくらい昔のことになってしまいましたが、試験の前日はかなり緊張して眠れなかったように記憶しています。今年の実験生の皆さんも、同じ思いで夜を過ごしたのだろうなと思います。

人生には、どうしても乗り越えなければ先に進めない山が幾つもあるものです。高校入試も、その一つであることに違いありません。

受験生の皆さんは、この日に向けて一生懸命努力してきたのですから、それぞれ目標を達成できるように祈っています。

とはいえ、全日制の最終倍率が1.06倍、学校学科によっては2倍前後に達するケースもありますので、健闘及ばず不合格という受験生が出ることは致し方ありません。

「一生懸命に努力したけれど巧くいかないことがある」というのは、さほど珍しいことではありません。これは、人生を長くやっていると良く分かります。私も振り返ってみれば、沢山の挫折を嫌というほど経験しています。

先程、人生には乗り越えなければならぬ山があるといいましたが、登山口は一つではありません。一つの道が塞がれたら別の道を進めば良いのです。一つひとつの山を自身の力で乗り越えながら前に進んでいくことが大事なのです。

また、第一志望と異なる学校に進まざるを得ない場合もあるでしょう。それもまた良いではありませんか。自分が思い描いていた世界と違うかも知れませんが、でもそれは、自分の想像を超えた新しい世界との出会いでもあるのですから。

それを、挫折という重荷にして背負い続けるのか、挫折をバネにして新しい自分と出会うかは、君たち自身の考え一つです。

君たちの目の前にはとてつもなく広い未来が開けていますが、未来への扉を開けることができるのは自分自身でしかありません。

高校入試の結果がどうであれ、君たちが堂々と勇気をふるって未来への扉を開けることを願っています。（塾頭 吉田 洋一）